

波紋

Ripple

2014年
11月

創刊
1985年（昭和60年）7月

No. 353号



第22回元気が出る森松展ご来場ありがとうございます!

第22回元気が出る森松展

実行委員長 吉岡

10月9日、10月10日の2日間、第22回元気が出る森松展を開催させていただきました。

テーマは「WE CAN DO IT」

サブテーマはここで見よう。ここで聞こう。ここで知ろう。です。

出展メーカー様37社の協力のお陰で**入場者数286名**と盛況のうちは無事終える事ができました。忙しい中をご来場いただきましてありがとうございました。親睦会もじゃんけん大会、ヨガ等で盛り上がりました。

来年は加藤実行委員長にバトンタッチします。いろいろな方に助けていただき本当に助かりました。来年も変わらぬご支援を何卒お願いいたします。本当にありがとうございました。



塩ビパイプの手作りスピーカー
製作：加藤雅昭

ご希望の方は営業部加藤まで。

『第22回森松展 ご来場ありがとうございました!』

社長 森 直樹

今回は286名と、来場者数は減少しましたがこの2日間で多くの方と有意義な時間を持つことが出来ました。森松展はやはり森松という企業を理解してもらおうのに絶好の機会です。来場者数だけでなく、これまで来場いただいたことのない皆様にも足を運んで頂けるような魅力あるイベントを企画し、アピールしていきたいと思えます。

会を重ねるごとに運営面ではよりスムーズになつて行きますが、毎回、前回とは違う何か、を実行していくことで来場者の皆さんのみならず我々自身も刺激を受けていくことが出来ます。今回はLINESスタンプとして発売された森松のキャラクター、「マモリン」が初登場しました。展示会ポスターだけでなく、社員の新しい名刺にも登場しています。今後皆様に親しまれるように展開にさせていただきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

さて、話は変わりますが弊社の行動規範である「モーリン語録」には「挨拶は大声で」とあります。来客時、また訪問時とはっきりとした声で挨拶ができる人はこちらもしっかりと挨拶を返したくなりますし、いい挨拶を交わすことでその後の話も気持ちよく始めることが出来るでしょう。挨拶の起源は人間が社会の中で生きるにあたり、自分が敵対関係に無いこと、武器を持っていないことを示すために手を上げた、ということだそうですが欧米では見知らぬ人同士の挨拶が自然に行われているように思います。つまり他人との壁が低いと感じます。裏を返すと、それだけ敵対関係にないということを確認しておいたほうが良い状況が多い、場合によっては思い違いでトラブルになりやすいということかもしれません。もしも挨拶もなく訪問したり、逆に挨拶を返すことが出来ないとお互いどこか居心地が悪く感じます。お互いにそういった印象を与えないためにもいい挨拶をし、また挨拶を返す事ができればと思います。仕事以前の非常に当たり前すぎる事ではありますが、私自身、挨拶をし、挨拶をきちんと返す、という意味も込めて今後も気持ちのよい挨拶から一日をはじめていきます。



祝50周年

吉岡 孝記 (営業部)



10月1日で東海道新幹線が開業50周年を迎えました。累計走行距離は2億キロ延べ56億人を運んできたそうです。東京―名古屋―大阪という大動脈を支えてきました。車両も0系から100系、300系、700系、N700系、N700S系と代わり、速度も210kmから270kmへ進化しています。開業時の輸送人員は2013年1.5億人を超え半世紀前の開業時の14倍に膨らみ、運搬収入も1兆8000億円です。東海上越などいくつもの新幹線を持つ「東日本」です。東北、山手線など首都圏の在来線の規模が大きく、運搬収入に占める新幹線の割合は30%にとどまる一方で、東海道新幹線の乗客一人当たりの平均利用額は約200円と、一般の在来線とは桁ちがいです。

私が新幹線に初めて乗ったのは高校時代の修学旅行だ。その日は残念ながら台風で、上野動物園も閉園で、パンダも見れません。電車も止まり地鉄を利便して、アメ横とか銀座とかぶらぶらした記憶しかありません。袋が降りようとした時、取っ手部分しかなく焦った記憶があります。台湾で新幹線に乗った時は、本当に日本の新幹線と同じで変な感じでしたが、列車事故による乗客の死亡はゼロ。時間も正確で世界に誇れる日本の技術が認められた結果だと思えます。また、2013年にはリニア中央新幹線が開業、最速500km/hで品川―名古屋間を40分で結ぶそうで、13年後を楽しみにしています。

始動開始

安井 浩二 (企画営業部)



今年の3月に行われました名古屋シテイマラソンに初めて参加しました。参加したのはクオーターマラソン(10.5km)です。日々の練習成果を試し目標タイムは6分(2km)を目標にしました。結果は5分台後半で無事完走できました。そして最後のゴールでは瑞穂競技場のトラックを走ることができ、人生初めての経験。マラソンランナーの気分を味わうことができました。そんな経験から、次はハーフ(約21km)に挑戦！取りあえず、タイムよりも完走を目標です。残暑も終わり、心地よい気候になり来年の3月を目指して始動開始。久しぶりから走ってみました。はじめは軽く流す予定でしたが、5kmあたりから、ついつい気持ちよくなり(以前では考えられなかった)右ヒザに違和感？その後は痛みを感じ、走行を断念。最初から、ちよつと無理し過ぎたかな？と思いつつも、翌週は筋肉痛も取れ、ヒザの痛みもなかった。今度はサポートは違和感を感じ始めたのですが、そのまま走る。10kmあたりで、さらに先週よりも激痛！とても走れる状態でなく、我が家で、まだ5km近くあり、情けなさを感ぜながらそのまま徒歩帰宅。(オッサンの悪いクセ！まだまだいける。と無理をしてみました。)やめておけばよかったです。私の右ヒザは「限界なのか？早く、20kmを経験したい」という思いが先走り、基礎トレーニングを怠ったのが原因です。大会までは、半年近くあるので、今は5km歩いて少し走る程度で、しばらく続けてゆくことにしました。先日、やや不安を感じながらも、ハーフマラソンにエントリーしました。現時点では、まだ結果が出ていませんが、抽選結果は11月上旬です。ちなみに約1000人の応募にて倍率は1.5倍です。抽選に通ることを祈り、焦らず、じっくり大会を目指して練習をしている、この頃です。

久しぶり

松井 宜和 (製造部)



先日、自宅近くのファミリーマートで雑誌の立ち読みをしていたら、後ろから肩をたたかれ振り返ると「久しぶり」と声をかけられて私も、「ウオーひさしぶりじゃん」と返事を返す。彼とは同級生で小・中学校一緒に自宅から彼の家まで100メートルも離れていない。一応連絡先を確認してその日は別れて、後日連絡が入り久しぶりにサッカー観戦にでも行こうかと誘いが入る。瑞穂競技場に名古屋グランパスの応援に歩いて行ける距離なので徒歩で20分ぐらいかけて向かう。こうして友達と瑞穂競技場へは、グランパスがリーグ優勝して以来なので4年ぶりだ。久しぶりに地元を歩いてみると、いつのまにか新しく飲食店やコンビニが増えていて、マンションや有料駐車場が新しくできていたりもしたが、その分逆になくなっていたりする。子供の頃遊びに行っていたことのある同級生の家が建て直してさらに大きくなっていったのには一番驚いた。「久しぶりにあおうか」とチャイムを押そうとしたが、なんとなく押す勇気がなく、また今度の時にと・・・なった。

サッカーの結果は0対1で敗戦。グランパスからのサポーターとしてはストレスのたまる試合運びで帰りに、新瑞で自棄酒して帰宅しました。

町内運動会と祭り

伊東 義弥 (特販部)



先日息子と嫁を連れて、母の実家の町内運動会と祭りに参加してきました。母の実家と言っても、南区の天白です。会社からは約5分くらいのところですが、この町内運動会では、地域のちびっこが集まって、パン食い競争・障害物競走・ボールすくいなどをします。この運動会は、私が小さいときから毎年やっています。まさか自分の子供を連れていくとは思っていませんでした。改めてすごいことだと思いましたが、また、祭りでは町内の老若男女が集い、お神輿を担ぎながら町内を練り歩きます。ここでは、私が小さいときによく遊んでくれた「お兄ちゃん」と呼んでいた人たちが、4代になっても元気なお神輿を担いでいました。私は、小学4年生のとき以来の祭りで、誰も覚えていないかと思いましたが、ほとんどの人たちが覚えており、楽しく一緒に神輿を担がせてもらいました。最近では、みんな地方で暮らしており、昔からの人たちは、わざわざこの日のために実家に帰ってきて祭りに参加をするそうです。先導は、私の母の弟が、先導をし掛け声をかけます。その掛け声と共に一気にお神輿を担ぎあげて町内を歩きますが、ポイント地点5か所あり、出発地点から第1ポイント地点までを町内の若手。次のポイントまでをおじいちゃんたちがその次のポイントまでは女性陣。そこから若手が一気に最終到着地点まで担ぎます。最後はみんな打ち上げをして終わりとなります。小さいころからやってきたことが大人になっても同じメンバーで出るといふことは、とてもいいことだと思えます。しかし、だんだんと人が減ってきてしまっているとのことで、来年からは私も正規メンバーとして参加することとなりそうです。町内を盛り上げながら、町内のみんなを練り歩くという事は、最近では非常に珍しいことだと思います。そんなことも思いながら楽しく今後も参加したいと思えました。



11月の予定

1日(土) 第1土曜日休み

3日(月) 文化の日

8日(土) 第2土曜日休み

岩間正美さん誕生日

15日(土) 第3土曜日休み

22日(土) 第4土曜日休み

23日(日) 勤労感謝の日

24日(月) 振替休日

CS会議 14時10分〜

25日(火) 生産会議 12時〜

稲葉友昭さん誕生日

30日(日) 小原龍一さん誕生日

12月13日(土)

第33回家族忘年会開催

会場…中日パレスビル5F
時間…11時30分〜13時30分

幹事…松井、伊藤、大橋、小原
副幹事…成瀬、伊藤、大石

森松株式会社のオリジナルキャラクター
母り線の「マモリン」誕生しました!



このQRコードをLINEスタンプビュー
画面40回開く100円で獲得しています!
いれたい方、クリックしてください

森松株式会社 社内報 MORLIN
No: 353 平成26年10月27日
編集者 大石耕平 小原龍一 伊東義弥
森 大輔 柳原 瞬 小坂美香

娘の結婚式

河野 光代 (特販部)



ゴールドデンウィークに、長女まりなの結婚式でハワイに行ってきました。ハワイのホテルでウェディングドレス姿になり、ホノルルのメインストリートを専属カメラマンがついて写真撮影。もちろんギャラリイがいっぱいいて、いっぱい写真を撮ってもらっていました。私もアメリカ人に「マリッジ何たらかんたら? ペラペラペラ?」と何度も聞かれましたが、終始無言の笑顔で対応。残念でした。娘たちは、小さい頃に英会話教室に通っていた成果が少しあったのか、聞き取れて会話していました。(英語の成績は良くなかったけど、やっていた甲斐があったようです。) 式はホノルルから離れたリゾート地のチャペルで、これまた絶好のロケーションで始まりました。私がベールダウンをし、主人が娘と腕を組んでヴァージンロードを歩いてきました。なんだか笑って笑って、下の娘と大爆笑。笑顔いっぱいでも会食も終わり、リゾート婚を楽しみました。私も新婚旅行がハワイだったので、当手を思い出し? ペアのハワイアンジュエリーを買い、またハワイに来るために貯金をしよう! と誓いました。それから数か月後、思いもよらず二女りさも結婚式を挙げました。今度は県内のチャペルでオーソドックスな結婚式。フラワーシャワーの中、とても幸せそうでした。披露宴の最後の花嫁からの手紙で、私はさすがに泣いてしまいました。主人は「まりなの時に泣かなかったから、俺は泣かない」と宣言した通りずっと笑顔でした。(ちよつとやばかったと言っていました) 半年の間に、二人とも結婚しました。長女は車で、二女はしばらくの間は同居していて、今のところ寂しさはありません。孫も生まれるので、賑やかになりそうです。

